

慣用句を学ぼう（１）

稲羽西小自主勉強

下の①～⑤の文は、慣用句です。枠の中からそれぞれに入る最も良い語を選んで記号で答えましょう。

①		つづみをうつ
②		がすく
③		であしらう
④		に腹はかえられない
⑤		をうずめる

顔・目・鼻・舌・歯・胸・背・息・骨・足

慣用句とは、習慣として長い間広く使われてきた、ひとまとまりの言葉・文句 や言い回しのことです。

上の問題以外に次のようなものがあります。

●あいづちを打つ	相手の話に調子を合わせてうなずくこと。
●青筋を立てる	かんしゃくを起こして怒る。
●青菜に塩	すっかり元気をなくししおれる。
●赤子の手をひねるよう	とても簡単なこと。
●あけすけに言う	包み隠さず、何でもずけずけという。
●挙足(あげあし)をとる	人の言った言葉尻や、ちょっとした言い間違いをとらえて、大袈裟に批評したりする。
●顎(あご)で人を使う	威張った態度で人を使う。
●顎を出す	大変疲れてしまう。
●味をしめる	一度うまく行ったことが忘れられないで、いつもそうだろうと思う。
●頭が上がらない	従うほかはない。